

コミットメントと外部評価

社会に対するコミットメント ①

リコーグループは、ステートメントやガイドラインへの賛同・参画などを通して、持続可能な社会の実現に向け積極的に取り組んでいます。

2002年	4月	国連グローバル・コンパクトに日本企業として2番目に署名
2007年	6月	国連グローバル・コンパクトの「気候に配慮するビジネスリーダー綱領」に署名
2008年	5月	「ビジネスと生物多様性に関するイニシアティブ」リーダーシップ宣言に署名
	12月	国連「世界人権宣言60周年CEOステートメント」への支持声明に署名(リコー)
2009年	7月	「日本気候リーダーズ・パートナーシップ」に設立メンバー企業として参加
2010年	12月	気候変動に関する「カンクン声明」に賛同
2011年	2月	国連グローバル・コンパクト「女性のエンパワーメント原則(WEPs)」への支持声明に署名
2012年	11月	気候変動に関する「カーボンプライス」共同声明へ参加
2014年	9月	「世界銀行グループ・カーボンプライシング支援イニシアティブ」に賛同
		人的な二酸化炭素の累積排出量を抑える「1兆トン共同声明」に賛同
2017年	4月	国際的なイニシアチブである「RE100」に日本企業として初めて参加
2018年	8月	「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同表明
	10月	「気候変動アクション日本サミット宣言*」に署名
2019年	8月	「Business for Inclusive Growth(B4IG)」イニシアチブに日本企業として初めて参加(リコー)
	11月	グローバルなサプライチェーンの社会的責任を推進する企業同盟「RBA」に加盟
	12月	「ZEBリーディング・オーナー」に登録(リコージャパン)
2020年	1月	イクボス企業同盟に加盟(リコー)、2017年には、リコージャパン、2018年リコーインダストリアルソリューションズが加盟
	3月	2030年環境目標を改定し、SBTイニシアチブによる「1.5°C目標」の認定を取得
	6月	「Uniting Business and Governments to Recover Better」に賛同を表明
	10月	「Business Ambition for 1.5°C」キャンペーンに賛同を表明
	11月	企業の女性役員比率向上を目指す「30% Club Japan」に加盟
2021年	3月	環境関連技術交流の国際的な枠組み「WIPO GREEN」に参画(リコー)

*「気候変動アクション日本サミット宣言」

2018年10月に開催された「気候変動アクション日本サミット」において、同年12月に開催されたCOP24(国連気候変動枠組条約第24回締約国会議)に先立ち、気候変動(地球温暖化)対策の推進に向けた強いメッセージを発信する目的で発表されました。サミットに登壇した日本の企業、自治体など157団体が賛同。

WEB 詳しくはWEB 社会に対するコミットメント

WE SUPPORT



国連グローバル・コンパクト(UNGC)

国連が提唱している世界的なイニシアチブで、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的な取り組みです。UNGCは企業に対し、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する10原則を順守し実践するよう要請しています。

RE100

CLIMATE GROUP | CDP

RE100

事業に必要なエネルギーを100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的なイニシアチブです。2014年、イギリスに本部を置く国際環境NGOのThe Climate Groupが中心となって設立。

表彰

リコーグループに対し、国内外で数々の評価・表彰をいただいています。

2020年	7月	複写機遺産認定「電子リコピーBS-1」(1965年発売)
2021年	1月	「第21回テレワーク推進賞」で推進賞受賞
	3月	「健康経営優良法人2021 ホワイト500」にリコーグループ5社が認定 「2021 J-Winダイバーシティ・アワード」で準大賞を受賞
	6月	経済産業省が定める「DX認定」を取得
	8月	「日経コンピュータ 顧客満足度調査 2021-2022」ITコンサルティング/上流設計関連サービス(情報サービス会社)部門、システム開発関連サービス(情報サービス会社)部門、システム運用関連サービス(情報サービス会社)部門で1位獲得
	9月	J.D. パワー2021年カラー複合機顧客満足度調査ラジ&ミドルオフィス市場部門、カラーレーザープリンター顧客満足度調査で第1位
	10月	J.D. パワー社顧客満足度調査2分野で7年連続で第1位(ITソリューションプロバイダー独立系/ユーザー系/事務機器系Sler セグメント、および2021年IT機器保守サービス顧客満足度調査<サーバー機編>)
2021年	11月	J.D. パワー法人向けテクニカルサポートコールセンター満足度調査3分野で第1位(サーバー部門、PC/タブレット部門、およびコピー機/プリンター部門)
		第5回日経スマートワーク経営調査で最上位の星5に認定
		第3回日経SDGs経営調査で3年連続最上位の星5に認定
2022年	2月	クラリベイト plcから世界のイノベーション・エコシステムの頂点に立つ組織「Clarivate Top 100 Global Innovators 2022」に選出 内閣府が主催する「地方創生テレワークアワード(地方創生大臣賞)」を受賞 GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」において、最多となる5機関から高い評価を獲得

NIKKEI
SDGs

Top 100
Global
Innovator
2022

Clarivate

ESGインデックス組入れ・評価

リコーグループは、ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組みに対し、社外から評価され、国内外のESGインデックスの組み入れ銘柄として採用されています。

2022年3月現在

Dow Jones Sustainability Indices (DJSI)の「World Index」構成銘柄に2020年から継続採用
「Asia Pacific Index」に2018年から連続して採用



Dow Jones Sustainability Indices

米国のダウ・ジョーンズ(Dow Jones)社と、サステナビリティ投資に関する調査専門会社であるS&Pグローバル(S&P Global)社が共同開発した株価指標で、経済・環境・社会の3つの側面から世界各国の大手企業の持続可能性(サステナビリティ)を評価するものです。

S&Pグローバル社の世界的サステナビリティ格付けにて最高位の「ゴールド」クラスを受賞



S&P Global Sustainability Award

世界的な社会的責任投資(SRI)評価会社である米国のS&Pグローバル社のサステナビリティ格付けで、リコーがエントリーしている「コンピュータ・周辺・オフィス機器」のカテゴリーでは「ゴールド」1社、「シルバー」4社、「ブロンズ」2社が選定されています。

CDPで最高評価の「気候変動Aリスト」企業に継続認定



CDP

国際的な環境調査・情報開示を行うNGOで、「気候変動」「ウォーター(水)」「フォレスト(森林)」の3つを活動領域としています。各分野について、調査票に回答した企業を、最高位A、A-、B、B-、C、C-、D、D-、の8段階で評価します。

「CDP2021 サプライヤー・エンゲージメント評価」において2年連続で最高評価を獲得



「サプライヤー・エンゲージメント評価」は、サプライヤーとの効果的な協働による企業のサプライチェーン全体での気候変動・温室効果ガス排出量削減への取り組みについて調査し、取り組みに応じて企業を格付けするものです。全世界6,000社以上の企業を対象に調査が行われた結果、2021年のサプライヤー・エンゲージメント・リーダーには上位8%(約500社、うち日本企業はリコーを含む105社)が認定されました。

EcoVadis社によるサプライヤー向け調査で「ゴールド」評価を2014年から連続で取得



EcoVadis社

160カ国以上、200業種以上におよぶサプライヤー企業を対象に、「環境」、「労働と人権」、「倫理」、「持続可能な資材調達」分野における企業の方針、施策、実績について評価を行っています。

世界的な社会的責任投資(SRI)指標の「FTSE4Good Index Series」に2004年から18年連続で継続採用
ESG投資のための株価指数「FTSE Blossom Japan Index」に2017年新設当初から連続して選定



FTSE4Good Index Series

英ロンドン証券取引所100%出資のFTSE Russell社が開発した株価指数で、ESG対応に優れた企業を2001年から選定しています。

FTSE Blossom Japan Index

日本企業に特化して2017年に構築されたもので、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)がESG投資を行うための株価指数の一つとして採用されています。

「MSCI 日本株女性活躍指数」の構成銘柄に2017年新設当初から連続して選定



MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

女性の雇用や管理職の割合、ダイバーシティへの取り組みに関する開示情報を基にスコアを算出することで、長期的に持続可能な成長が見込める企業を選定しています。本指数は、GPIFがESG投資を行うための株価指数の一つとして採用されています。

株式会社リコーのMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社(MSCI)のデータの使用や、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIによる株式会社リコーのスポンサー、支持、販売促進を行うものではありません。MSCIのサービスとデータは、MSCIまたはその情報プロバイダーの資産であり、現状を提示するものであり、保証するものではありません。MSCIの名称とロゴは、MSCIの商標またはトレードマークです。

「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」に2018年新設当初から継続して採用



S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

世界最大級の独立系指数会社であるS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社と日本取引所グループ(JPX)の東京証券取引所が共同で開発したESG指数です。TOPIX構成銘柄を対象とし、Trucostによる炭素排出量データに基づき、環境情報の開示状況や炭素効率性(売上高当たりの炭素排出量)の水準に着目して、構成銘柄のウエイトが決定されます。GPIFが2018年にグローバル環境株式指数として採用しています。

ISS ESGのコーポレートレーティングにおいて継続して「Prime」の評価



ISS ESG CORPORATE RATING

ISS ESGは米国に拠点を置く持続可能な投資分野における世界有数の格付け機関です。セクター特有の基準を超える高いESGパフォーマンスの企業に対して「Prime」の評価が与えられます。